

夏の神奈川、南北2大会 南に横浜、北には東海大相模



来夏（2018年）の第100回全国高校野球選手権記念大会の出場校を決める神奈川大会について、主催者の神奈川県高校野球連盟と朝日新聞社は24日、県内を南北に分割し、南神奈川大会と北神奈川大会に分けて開催すると発表した。記念大会の特例で、神奈川からの甲子園出場枠が2校に増えるため。

来年度の県高野連加盟予定校は194校で、南神奈川は今夏甲子園に出場した横浜など96校、北神奈川は2015年夏に全国制覇した東海大相模など98校。南北の地区割りは、南神奈川が南横浜地区（横浜市瀬谷、保土ヶ谷、西、中、泉、戸塚、南、港南、磯子、栄、金沢の各区）▽横須賀地区（横須賀市など）▽湘南地区（藤沢市など）▽西湘地区（小田原市など）。北神奈川は、北横浜地区（横浜市青葉、都筑、港北、鶴見、緑、神奈川、旭の各区）▽川崎地区（川崎市全域）▽北相地区（相模原市、厚木市など）で構成される。

やはり南北2大会方式だった2008年の第90回大会で北神奈川に入っていた横浜市瀬谷区が南神奈川に移ったほかは、南北の線引きは第90回大会を踏襲した。

1998年の第80回大会では県を東西に分割して神奈川大会が実施されたが、県高野連は「学校数のバランスを考慮し、過去の実績にかんがみて『南北』にした」としている。

今夏の神奈川大会の8強は、南神奈川に横浜、日大藤沢、相洋、立花学園、北神奈川に東海大相模、日大、桐光学園、慶応と、南北に4校ずつ。今秋の県大会の8強は、南神奈川に鎌倉学園、横浜隼人、磯子、藤嶺藤沢、横浜の5校、北神奈川に東海大相模、慶応、桐光学園の3校となっている。

また、第90回大会から今夏の第99回大会まで過去10年の神奈川大会の優勝校・優勝回数を見ると、南神奈川は2校で計6回、北神奈川は3校で計5回となっている。（飯塚直人）

北神奈川大会（98校）

【北横浜地区】希望ヶ丘、横浜翠嵐、川和、鶴見、港北、市ヶ尾、旭、霧が丘、白山、新羽、田奈、荏田、横浜旭陵、鶴見総合、新栄、元石川、岸根、城郷、神奈川工、東、横浜サイエンスフロンティア、浅野、武相、横浜商大、★◎慶応、☆日大、桐蔭学園、森村学園、神奈川大付、サレジオ学院、橘学苑、鶴見大付、横浜翠陵、中大横浜

【川崎地区】県川崎、多摩、新城、生田、川崎北、百合丘、生田東、麻生総合、住吉、大師、菅、麻生、川崎工科、向の岡工、市川崎、橘、高津、幸、川崎総合科学、法政二、★◎桐光学園

【北相地区】厚木、秦野、津久井、相原、相模原、大和、座間、麻溝台、城山、上鶴間、上溝南、伊志田、綾瀬、大和南、厚木北、橋本、海老名、相模原青陵、厚木清南、相模原総合、秦野総合、大和東、座間総合、厚木東、伊勢原、綾瀬西、有馬、上溝、愛川、弥栄、厚木西、大和西、秦野曾屋、相模田名、相模原中等教育、中央農、神奈川総合産業、相模向陽館、★◎東海大相模、向上、光明相模原、麻布大付、柏木学園

南神奈川大会（96校）

【南横浜地区】横浜緑ヶ丘、横浜立野、横浜平沼、横浜南陵、柏陽、瀬谷、金井、金沢総合、舞岡、松陽、横浜栄、◎磯子、横浜清陵、横浜緑園、瀬谷西、横浜桜陽、保土ヶ谷、氷取沢、釜利谷、上矢部、永谷、光陵、横浜明朋、県商工、磯子工、金沢、南、桜丘、戸塚、横浜商、関東学院、関東六浦、★◎横浜、横浜創学館、山手学院、◎横浜隼人、秀英、横浜学園

【湘南地区】茅ヶ崎、茅ヶ崎北陵、鎌倉、湘南、藤沢西、鶴嶺、寒川、藤沢総合、藤沢清流、茅ヶ崎西浜、大船、七里ガ浜、湘南台、深沢、藤沢工科、◎藤嶺藤沢、藤沢翔陵、☆日大藤沢、湘南学園、◎鎌倉学園、湘南工大付、慶応藤沢、アレセイア

【横須賀地区】横須賀、追浜、逗子、三浦臨海、津久井浜、逗葉、大楠、横須賀大津、横須賀明光、海洋科学、横須賀工、横須賀総合、逗子開成、三浦学苑、横須賀学院、湘南学院

【西湘地区】大磯、小田原、山北、平塚湘風、二宮、足柄、西湘、大井、高浜、平塚江南、平塚工科、小田原城北工、吉田島、平塚農、☆相洋、☆立花学園、平塚学園、旭丘、星槎国際

【注】来年度の県高野連加盟予定校を掲載。☆は今夏の神奈川大会8強、◎は今秋の県大会8強